

令和8年度(2026)スポーツライミング千葉県代表 選考基準

2026年3月11日

一般社団法人千葉県山岳・スポーツライミング協会

県代表選手・監督・帯同トレーナーを選考する最終的な権限は（一社）千葉県山岳・スポーツライミング協会（以下、CMSCA）が有する。代表選手の選考は以下の基準に基づき選手選考委員会が推薦し、CMSCA理事会で承認することによって決定する。

<国民スポーツ大会 県代表選手>

I. 代表選手団選考方針

- (1) 関東ブロック大会においては、ブロック大会を通過する可能性が高い選手の組み合わせを重視する。
- (2) 本大会においては、獲得点が最大化する可能性の高い選手の組み合わせを重視する。
- (3) 行動規範を重視し、CMSCAを代表するに相応しい選手団を編成する。

II. 選考基準

- (1) 関東ブロック大会、本大会ともに、JSP0が規定する「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の対象者を候補選手として最優先で考慮する。
- (2) 関東ブロック大会の選手選考では、国スポ千葉県予選会の成績上位の選手を候補選手として考慮する。本大会の選手選考では、関東ブロック大会の個人成績も考慮する。
- (3) 以下に示す「上位の大会（当該年）」は県主催の国スポ千葉県予選会に準ずる大会として認め、その成績を国スポ千葉県予選会と同様に考慮する。

(注)：「上位」大会

- | | |
|----------------|---------------|
| ① ボルダージャンカップ | ② リードジャンカップ |
| ③ ボルダージュス日本選手権 | ④ リードユース日本選手権 |

以上、(1)～(3)の基準をもとに、総合的に判断して各種別の代表選手2名と補欠選手1名を選考する。

<国民スポーツ大会 監督・帯同トレーナー>

I. 選考基準

- (1) 関東ブロック大会、本大会ともに、県代表選手の指導・ケアを日常的に行っているコーチ・トレーナーを優先的に考慮する。
- (2) 大会や練習会などで県代表選手の指導・ケアをしたことのあるコーチ・トレーナーを考慮する。
- (3) 監督については、JSP0公認スポーツライミングコーチ資格を必須とし、トレーナーについてはJSP0公認アスレチックトレーナー資格をもっていることを推奨とする。

<全国大会・関東大会 県協会推薦選手>

(リードユース日本選手権、ボルダージュース日本選手権、スピードユース日本選手権、ユースフューチャーカップ、関東小中学生スポーツクライミング大会 等 において都道府県岳連/協会推薦選手が設定された場合)

県協会推薦選手を選考する最終的な権限は(一社)千葉県山岳・スポーツクライミング協会(以下、CMSCA)が有する。推薦選手の選考は以下の基準に基づき選手選考委員会が推薦し、CMSCA理事会で承認することによって決定する。

I. 推薦選手選考方針

- (1) 世界ユース選手権、アジアユース選手権への出場可能性が高い選手、および国民スポーツ大会出場予定選手を重視する。
- (2) 将来的に国民スポーツ大会や国際大会での活躍が期待される選手を重視する。
- (3) 行動規範を重視し、CMSCAを代表するに相応しい選手団を編成する。

II. 代表選手選考基準

- (1) 全国大会の成績により、JMSCA推薦選手となっているものは優先的に考慮する。
- (2) JMSCA主催大会、CMSCA主催大会のうち、申し込み時期に間に合う同種目大会の成績を選考の参考資料とする。原則として直近の大会を参考資料の最優先とする。スピード種目にあってはJMSCA公認競技会でのベストタイムも考慮する。

以上、(1)～(2)の基準をもとに、総合的に判断して代表選手を選考する。

以上

2026年度 CMSCA 選手選考委員会 メンバー

委員長 目次 俊雄 (CMSCA 副会長)

委員 阿部 雅史 (CMSCAスポーツクライミング部 選手強化委員長)

委員 有地 伸弘 (CMSCAスポーツクライミング部 競技委員長)

委員 樋口 拓哉 (CMSCAスポーツクライミング部 普及安全・医科学委員長)

委員 平野 直子 (国体監督経験者)

委員 安楽 武志 (国スポ監督経験者)

委員 田中 星司 (国スポ監督経験者)

委員 西田 朱李 (国スポ監督経験者)

委員 近藤 哲史 (国スポ監督経験者)

委員 原 慈妙子 (競技力向上推進本部 派遣担当者)

委員 関 研一 (CMSCA 理事長)